

2023年3月11日（土）発生  
長野支社 佐久営業所管内で発生した請負感電事象

【発生概要】

高圧仮送ケーブルを接続する際に、補助で高圧仮送ケーブルを保持していた作業員が感電

【発生日時】

2023年3月11日（土） 10:12

【発生場所】

長野県佐久市中込

【発生部署】

中部電力パワーグリッド株式会社 長野支社 佐久営業所 配電建設課

【年齢】

30代（勤続年数13年）

【当日の服装】

作業着、高圧絶縁ゴム長靴、ヘルメット、革手袋

【業務内容】

配電線高度化に伴う子局および開閉器取替

【ケガの程度】

不休（要治療）

【傷病名】

電撃症

【概要】

次頁参照

- 1、8：50 現責以下6名は、03ア341柱に到着。TBM-KYを実施して作業を開始した。
- 2、被災者と技師Aの2名は、03ア344柱において高圧自家用の仮送電準備を開始した。  
技師Aは高圧仮送電作業未経験のため、被災者は昇柱して指導しながら作業していた。
- 3、被災者は技師Aが高所作業車にて高圧仮送電ケーブルを接続する際にケーブルが長く接続に苦慮すると判断し、ケーブル保持を技師Aに提案した。
- 4、被災者は高圧仮送電ケーブルを保持するためケーブルのストレスコーン付近（青相表示テープとストレスコーンの境目部分を跨いで【推測】）を保持して  
ケーブルを上を持ち上げた。
- 5、10：12 技師Aが高圧仮送電ケーブルを接続した際に、被災者が感電した。  
（HJで北中込変電所F17 OVG V0=2kV 発生あり）  
（流入箇所は高圧仮送電ケーブルのストレスコーン部分【推測】から右手親指付け根。流出箇所は右ひざから低圧腕金）
- 6、被災者は感電した際に「わぁ」と叫んだため、技師Aが被災者へ声をかけた。
- 7、被災者は右手に痛みを感じたため、現場責任者へ申し降柱した。
- 8、被災者は作業用手袋を外し、右手を確認したところ、親指付け根が赤く腫れあがっていることを確認した。  
現場責任者は救急車を手配し、工事管理者へ被災者が感電したことを報告した。
- 9、10：45 救急車が現地に到着。
- 10、10：53 医療機関に被災者が搬入された。  
診断結果は、電撃症と診断された。  
（状況は右手の親指付け根と右ひざに3度の火傷あり）
- 11、12：25 病院での診断終了（病院での診断の結果、不休で良いとの診断であった。受診後、本人は帰宅した。3月13日に再受診予定）

